

AC2 鳴き声仲間さがし

実施のしかた (PDF)

1. ダウンロードしてつくった数種類のカードを、バラバラになるように切っておきます。
2. すぐに目隠しができるように、参加者にバンダナ等を頭に巻いてもらいます。
3. カードを配る前にルールの説明をします。
 - ①カードには数種類の動物の鳴き声を書いてある
 - ②カードは自分だけで見て、人に見せてはダメ。声に出してもダメ。
4. 動物の鳴き声がかかれたカードを裏にして参加者に1枚ずつ配ります。
5. 参加者は、他の人に見えないようにカードを見て、書いてある鳴き声を覚えます。
6. 指導者は、目隠しをしたらカードの書いてある声しかしゃべってはいけないことを伝え、参加者に目隠しをしてもらいます。
7. 参加者は、指導者の合図でカードに書いてあった鳴き声を出し、同じ声を出しているグループごとに集まります。

指導者やスタッフは、参加者が危ない場所に行かないように気をつけるとともに、はぐれて仲間に出会えない人を何気なくグループのいる方向に導きます。

8. 同じ鳴き声のグループごとに集まったら目隠しをとって、カードを見せ合う前に、グループごとに一斉に鳴き声を出し、違う声の人がいないかを確認します。

まずは、正解を耳で確認し、そのあとでカードを見せ合って再確認します。

9. 目が見えなくても、人を識別したり、コミュニケーションができることを伝えましょう。

顔見知りのグループで行う場合は、目隠しをはずす前に一人の人に鳴き声を出してもらい、みんなで誰の声なのかを当てます。こうして声だけで人を識別できることを確認します。

10. 声の主である動物を紹介します。そして、イルカ・クジラは音の世界で暮らす生きものであることを伝えます。

それぞれのカードに書かれた鳴き声の生きものが何であるか参加者に聞き、その後動物を紹介します。そして、イルカは声を出して周りの仲間に自分の居場所を伝えたり、音を利用して周りのようすを見たり、餌を探していることを説明します。

*参考資料：「イルカのひみつ兵器（超音波）」（偕成社『クジラとイルカ 海も地球も大研究』より）

*参考資料：ファクトシート「イルカ・クジラⅣ 音の世界で生きるイルカ・クジラ」

■原案：『サウンド オフ』 ※出展不明（1990年代に外国の指導者をゲストにした環境教育のワークショップで紹介された）

■参考：『環境教育活動ティーチャーズガイド』国営みちのく杜の湖畔公園／2002年